

災害時利用可能な業務用ノートパソコン(eSIM対応)賃貸借 提案評価基準

記載項目	評価内容	配点
1. 提案内容		
(ア) 共通事項(業務実施方針・実施体制・実施工程)		
1 業務実施方針	本事業の趣旨(災害時の通信確保及び実証実験)を的確に理解し、その実現に向けた方針が明確に示されているかを評価する。目的達成への基本的な考え方や本市の課題認識との整合性を確認する。	200
2 本件における実施体制	業務を確実に遂行するための実施体制が整備されているかを評価する。責任者・担当者の役割分担や、市との連絡・調整体制の明確さを確認する。	
3 実施工程・スケジュール	環境構築から本稼働までの工程が現実的かつ確実であるかを評価する。本稼働に向けたスケジュールの妥当性を確認する。	
(イ) 業務環境全体構成(本仕様書の端末、端末から庁内までのネットワーク全体構成等)		
1 平時の利便性・災害時の業務継続性(端末仕様)	通常業務において、有線接続で職員が快適かつ安全に利用できる端末構成・機能であるかを評価する。日常的な業務利用への適合性を確認する。 災害時に出勤先や避難先でも安定して利用できる端末構成・機能であるかを評価する。可搬性や災害時利用を想定した運用面の工夫を確認する。	280
2 平時の利便性・災害時の業務継続性(ネットワーク)	通常業務において、端末から庁内LANまでが安定的かつ安全に接続される構成であるかを評価する。全体構成の技術的整合性を確認する。 災害時に出勤先や避難先から庁内LANへ安全に接続できる構成であるかを評価する。災害時の連絡手段・業務継続性の確保に資するかを評価する。	
(ウ) モバイル閉域網の方式・接続性・セキュア接続の考え方		
1 通信回線・セキュリティ(モバイル閉域網)	採用するモバイル閉域網の方式が、外部からの脅威を排除した安全な接続を実現しているかを評価する。閉域性の確保根拠とセキュア接続の考え方を確認する。 通信障害や災害時の輻輳等が発生した際に、通信を維持・復旧できる備えがあるかを評価する。回線の冗長性や緊急時の対応力を確認する。	160
(エ) サポート・保守、連携体制		
1 サポート・保守	平時・災害時を通じて安定運用を支えるサポート・保守体制が整っているかを評価する。受付体制や故障対応の迅速性を確認する。	120
2 連携体制	市・契約事業者・通信事業者等の関係者間で、円滑に連携・調整できる体制が示されているかを評価する。役割分担の明確さを確認する。	
(オ) 費用に関する事項(初期費用、本仕様書の端末費用、端末から庁内までのネットワーク全体構成の費用について、それぞれの区分を明示した5年間総額・内訳)		
1 事業費用(賃貸借+想定通信の合計)	費用が妥当かつ明瞭に示され、区分が明確であるかを評価する。初期費用、端末費用、ネットワーク全体構成費用の区分・内訳の明確性と、提案内容に見合った経済性・透明性を総合的に確認する。	200
(カ) 将来性・業務継続性(本格導入に向けた拡張性)		
1 将来性・業務継続性	実証実験後の本格導入や対象拡大に耐えうる将来性・拡張性を有しているかを評価する。技術・サービスの継続性も併せて確認する。	80
(キ) 推奨要件への対応、追加提案・アピールポイント		
1 推奨要件への対応、追加提案・アピールポイント	仕様書の必須要件を超える付加価値や、本事業に資する独自提案があるかを評価する。実証実験の効果検証や働き方改革への寄与を確認する。	80
2. プレゼンテーション		
1 プレゼンテーション	提案内容を的確に説明し、委員の質疑に適切に対応できるかを評価する。提案の実現性・信頼性を説明を通じて確認する。	80
合 計		1,200